## 平成29年度 市民生活部長「政策宣言」中間報告

市民生活部長 尾 山 伸 二

## ○ 平成29年度重要事業

	,,,	
事	業名	衛生施設の整備
	標	クリーンピア射水については、現施設の延命化を図るため、長
		寿命化総合計画や生活環境影響調査書を作成します。
		新斎場については、平成29年3月に策定した「射水市新斎場
目		整備基本計画」を踏まえ、基本設計を行うとともに、関係自治会
		に対しては、引き続き丁寧に説明しながら合意形成を図ってまい
		ります。
		クリーンピア射水の長寿命化総合計画については、これまでの
		修繕実績を整理し、設備や機器に関する今後の運転管理につい
		て、その整備方針の検討を進めています。また、生活環境影響調
進揚	り 状 況	査については、周辺の自然及び人口動態や生活環境など社会的条
		件等の現況把握を完了しました。
		新斎場については、関係自治会に対し、基本計画の中間報告を
		行ったところです。
		クリーンピア射水の長寿命化総合計画については、効果的な延
	後の対応	命化計画を検討し、平成30年2月までに策定を完了します。ま
今後		た、生活環境影響調査については、長寿命化総合計画を踏まえた
1 1		環境影響予測と総合的な分析・評価を進めます。
		新斎場基本設計の最終報告を関係自治会に説明するとともに、
		引き続き実施設計に取り組んでいきます。

事 業 名	コミュニティバス路線の見直し
目標	昨年10月から実証運行している中央幹線「0番線」をはじめ、 既存路線の見直しを図り、利用実態に合わせた車両の小型化を進 めるなど、利便性の高い効率的な運行を実施します。
進捗状況	本年10月から中央幹線「0番線」を新湊地区センターまで延伸したほか、利用実態を踏まえ、更なる利便性向上のため、停留所の新設や廃止など6路線について見直しを行いました。
今後の対応	高齢者などの移動制約者を支援する公共交通としての役割を 最大限に果たせるよう、高い利便性の確保、経費とのバランスや 効率性を重視し、持続可能な公共交通の推進を図っていきます。

事 業 名	協働のまちづくり事業の推進
	多くの市民の方にまちづくりへの興味や関心を高めてもらう
	ため、地域振興会やNPO団体などの活動を研修してもらう「射
	水まちづくりプラットホーム ~まちプラ~」を開設します。
目 標	また、これまでの射水まちづくり大学の卒業生が自主的にまち
	づくりに関わっていただけるよう「(仮称) 射水まちづくり大学
	OB会」の設立を支援し、協働のまちづくり事業を推進するため
	の担い手育成に取り組んでいきます。
	「射水まちづくりプラットホーム~まちプラ~」を3回のプロ
	グラムで実施し、延べ72名が参加しました。
進捗状況	「(仮称) 射水まちづくり大学OB会」設立に向け、卒業生自
	らが企画・運営する「射水まちづくり大学同窓会」のスタッフを
	募集したところ、10名の応募がありました。
	地域で活躍できる人材の育成を図りながら、地域の特性を生か
今後の対応	した活力ある地域社会を実現するため、引き続き、協働によるま
	ちづくりを推進していきます。